



それっ！～勢よくスタート！～

同時に、太田公民館長杯ゲートボール大会及び今回初めての試みとして、マレットゴルフ大会が開催されました。

ゲートボール大会結果  
優勝 大深  
準優勝 今井B  
第三位 小境A  
マレットゴルフ大会結果  
優勝 木原喜正さん(瀬木)  
準優勝 村松敏人さん(曾根)  
第三位 広瀬鉄夫さん(北条)



それぞれのカボチャに個性が！

Trick or Treat  
ハロウインの風物。子供達が仮装をして各家庭を回り、「Trick or Treat?」と言い、言われた方は「Happy Halloween!」と答えてお菓子をあげる事が伝統。

最後はハロウインで子どもたちが仮装して、近所の家をまわってお菓子をいただくTrick or Treatをアレナさんとキムさんといっしょにやってみて楽しいハロウインになりました。

子育てセミナー公開講演会 **すべては子どもたちの幸せのために**

講師：上田情報ビジネス専門学校副校長 **比田井 和孝 氏**

子どもたちが幸せに成長するための家庭や地域のあり方とは…  
ベストセラー「私が一番受けたココロの授業」著者、ヒダカズ先生の元気が出る講演会!!

日時 **12月4日(土)** 午後1時30分～3時  
会場 飯山市公民館 2階講堂 (入場無料)

★ 託児について  
託児をご希望の方は飯山市公民館までご予約ください。  
(締め切り：11月30日(火)、先着10名まで、託児のおやつ代100円)  
\*お子様と一緒に講演を聴くこともできます。

○ お申し込み・問い合わせ先：飯山市総合学習センター(飯山市公民館) TEL 62-3342



常盤  
◇秋のガーデニング講座  
『春まで楽しめる寄せ植えづくり』  
10月21日(木)飯山市園芸指導員丸山珠美さんを講師にお迎えして今年2回目の園芸講座を開催しました。

参加者は20人、鉢にも凝り、パンジー・ビオラを主体にとっても華やかな寄せ植えが出来て、みなさん大満足でした。

色とりどり花の競演

◇あらいなおのハーモニカコンサート  
10月27日(水)市公民館講堂でハーモニカ世界チャンピオンあらいなおさんのコンサートが開催されました。

第一部は19才のクロマチックハーモニカによるソロ演奏、第二部は常盤ハーモニカクラブ、戸狩小学校音楽クラブ(リコーダー)の皆さんとのジョイント演奏と約100人の聴衆者は、さわやかであたたかい音色を楽しみました。

来年もまた来てくれたらいいなと思われたコンサートでした。

子どもと一緒に

◇バスハイクのお知らせ  
11月20日(土)、中房温泉と安曇野散策の旅  
詳細はチラシでお知らせします。

見ていってね

太田  
◇薬膳料理教室開催!  
10月12日(火)にトピアホールで開催しました。  
講師に野菜ソムリエの庚久美さんをお迎えしました。

世界に一つだけの手作り門松で新年を迎えてみませんか。  
詳しくは、常盤公民館までお問い合わせください。

当日の献立

◇学習講座「三門松作り」  
今年も12月12日(日)午後1時30分から常盤公民館で開催します。講師は瑞穂(関沢)の鈴木智洋さんです。

大勢の皆様に来ていただきありがとうございました

◇第31回太田地区文化祭開催  
10月24日(日)に第31回太田地区文化祭開催をしました。例年とは違い今年、ペガサスグランドにて行われた戸狩とん平トレイル駅伝と同時に開催し、展示会場も星フル降るレストランにて行いました。

今年の会場は  
いかがだったでしょうか?

えして、地元の食材を使った料理をつくりました。20名を超える参加者が集まり、自分達で調理した食事を食べ、和やかな空気の中での講座となりました。

真剣に調理する参加者の皆さん

人箱 学習シリーズ 「思いやりと絆」

飯山市 PTA 連合会会長 宮本 幸成

全世界が目撃している、南米チリ鉱山事故。地下700mの暗闇に閉じこめられた33名全員の救出を全世界の人々が見守っている中、ある新聞の記事に目が留まった。

それは、「地獄から助かるのは自分だけでいい」小説の「蜘蛛の糸」。主人公がお釈迦様の垂らしてくれた一本の細い糸を自分だけが助かれればいいと独り占めしようとした瞬間、糸が切れ、闇の中に落ちてしまう。この事故では「地上に出るのは自分が最後でいい」互いに体調などを思いやり、順番を譲りあっている。「この糸は俺の物だ」とわめいた「蜘蛛の糸」の主人公を思い出した。と書いてあった。

ぎりぎりの状態の中で自分勝手な行動を取らず思いやりを大事にした結果、素晴らしい絆が生まれたのだと思います。

私達の身近でも、子供のいじめがあります。いじめる方は、面白半分だったものがだんだんとエスカレートしていき人の気持ちに気付かない。

いじめに遭っている人は、誰にも心の内を言えなく命を絶ってしまう。他にもいろいろな問題があると思いますが、そうならないように、私達大人が、普段から子供たちと会話をし、ちょっとした変化を見逃さないようにする必要があります。「自分は知らない」「自分ではない」「自分が我慢すれば」「自分だけ…」自分中心で他人のことは二の次。それは否定しません。私もそうですから。

心のどこかに、思いやりの気持ちがあれば解決できるものが多いと思います。

奇しくも、この大事故で、一番大切な物を思い出させてくれた気がします。

人は自分だけでは何も出来ない。人に助けられ、助け合い、深い絆が生まれ、いつも笑いの絶えない仲間が増えていくのだと思います。

大人が心と心の繋がりをもっと意識をし、子供たちに「思いやり・絆」の大切さを伝え教える必要があるのかなと思います。